

国指定重要無形民俗文化財「生里のモモテ」
生里ももて祭保存会が文部科学大臣表彰受賞



▲上半身をかがめて的を射る独特の作法

祝 地域文化功労者 文部科学大臣表彰



▲代表を務める大江壽昭さん（中央）

1/13
三豊市役所

永年にわたり、国指定重要無形民俗文化財「生里のモモテ」の保存と継承に尽力し、地域文化の振興に貢献したことが評価され、生里ももて祭保存会が平成28年度地域文化功労者（団体）として、文部科学大臣から表彰を受けました。
この行事の準備や運営は、頭屋なる10軒の家人が中心となり、厳しい取り決め事や儀礼事を地域住民の協力を得ながら厳格に執り行っています。
伝達を受けた代表の大江壽昭さんは「この受賞を励みとして、地域の会員みんなで、現在の社会環境や生活環境に合った伝統文化の継承に努めていきたい」と話しました。



▲的に当たるとご祝儀のお花が飛ぶ

的の作り方や材料も事細かに決められています▶



今年下記の日程で実施されます。
【日時】2月26日（日）午前8時～
※見どころは10時～
【場所】詫間町生里 三宝荒神宮
※生里漁港の駐車場をご利用ください。
▲問い合わせ 生涯学習課 ☎73-3135

「高瀬の学び舎」に文部科学大臣表彰



▲地域の人たちから、たくさんの新しいことを学ぶ

▲囲碁にチャレンジ！

高瀬町公民館が実施している放課後子ども教室「高瀬の学び舎」が文部科学大臣表彰を受賞しました。高瀬町公民館の松岡千鶴子館長は、「地域の方々にご協力いただきながら、子どもたちはさまざまな体験を通して、いきいきと学んでいます。その姿に地域の人たちも元気をもらっています」と話しました。



▲高瀬町公民館の松岡館長（左）

12/27
三豊市役所

市民の生命・身体・財産を守る！
消防団出初式を挙行

式では、藤川消防団長が「団員一人ひとりが更なる心身の練磨と知識や技術の習得を心がけ、消防団としての結束をより一層強固にし、地域住民の生命・身体・財産を守り、三豊市の安全安心のまちづくりに努めることを誓う」と力強く宣誓しました。
また、勤続10年・20年の団員に団長表彰を、勤続30年の団員家族には感謝状が贈られました。

1/8
市総合体育館



▲長年勤続する団員らを表彰しました



▲市長による観閲



▲団員ら930人が集結

みとよHOT
ほっとNEWS

デイリー版ほっとニュースは
市ホームページで [三豊市](#) [検索](#)

12/16
上高瀬小学校



▲「戦争の悲惨さと平和の大切さを伝えることが自分に与えられた使命」と話す政本さん（左奥）



▲戦地での壮絶な体験が伝わってきます



▲歴史が刻まれた靴に見入ります

戦争のない平和な世をいつまでも
市遺族会有志による紙芝居

紙芝居の語り手は政本道一さん（94）。政本さんは、衛生兵としてパプアニューギニアへ出兵し、戦闘や飢餓、病気で多くの仲間を命を落としていくなか奇跡の生還を果たした一人です。

紙芝居は、政本さんが自身の子どもに書いた絵手紙をもとに市遺族会有志が作成。授業では、壮絶な体験が描かれた36枚の絵と政本さんの語り引き込まれて涙ぐむ児童もいるほど。児童らは授業を通して、あらためて平和の大切さを学びました。

1人の100歩よりみんなの1歩
第7回みとよ・ヤング・エコ・サミット開催

市内の小中高校が一堂に会し環境をテーマに話し合う「みとよ・ヤング・エコ・サミット」。今回は、代表校による活動事例報告のほか、活動する中で生まれた課題や問題を班ごとにグループ討議しました。議長を務めた高瀬高校2年の湊智尋さんは、「学んだことを学校へ持ち帰り、さらに学校から地域へとエコの輪を広げていきたい」と話してくれました。

12/27
市民交流センター



▲発表では各校の取り組みを報告



▲今回からグループ討議を導入



▲この日学んだことを持ち帰り、地域でエコの輪を広げよう！